

防災訓練を実施しました

当協会は、島根県と「災害時における水道施設等の応急復旧等の応援に関する協定」を締結しています。

この協定は、島根県内で災害が発生したときに、すみやかに水道施設などを復旧させることを目的にしています。

この目的を果たすため私たちは、毎年防災訓練を実施しています。今年は、9月11日に安来、松江、益田の三地区で、情報伝達・参集訓練を実施しました。

松江地区では、配管模擬復旧訓練も実施しました。

災害はいつ、どこで発生するか分かりません。どんなときでも県民の皆様には安全な水を届けることができるよう、私たちは日頃から努めています。

【 防災訓練の状況 】

○安来地区の参集状況



○松江地区の参集状況



○益田地区における情報伝達の確認訓練



○松江地区の配管復旧模擬訓練

口径75mmの塩化ビニル管が破損して漏水しているとの想定で行いました

訓練場所



復旧作業



【防災訓練の様子が報道されました】

建設興業タイムス

平成25年9月18日(水曜日)

松江支部が防災訓練 迅速な対応を

管工事協

県管工事業協会松江支部(田本稔支部長)はこのほど、松江市内で防災訓練を実施、会員43人が参加した。

午前6時に大田市で震度6強の地震が起きたと想定し訓練を開始。5班構成の松江支部の出動班に、班長が参集を指令。班員は資・機材の調達が可能(松江市平成町)に集合した。また今回は、ビニールを使い、配管の復旧(漏水修理)模擬訓練も実施した。

配管の復旧模擬訓練を行う支部会員。松江市平成町



反省会では、班ごとの連絡体制がスムーズだったかなどを報告し、田本支部長は「今回で防災訓練は3回目だが、課題を今後に生かし、迅速な対応がで

きるよう意識、技術の向上に日々努めていこう」とあいさつ。班員間での連絡伝達が予定より時間がかかってしまったことや、班ごとの作業分担の徹底など申し合わせた。

建設興業タイムス
発刊50周年記念
**無料試読
実施中!**

詳しくはホームページで